

第53期 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日

p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

p.02 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS
1

第7回鉄道技術展に出展しました

TOPICS
2

医療と介護の総合展（大阪）に出展しました

TOPICS
3

紀三井寺ケーブルカー駅で
ホームドアをご採用いただきました

p.05

決算データ

p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員の状況



世の中に
必要不可欠な
会社を目指して

代表取締役社長

高見澤和夫

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第53期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により低迷していた経済活動の一部で持ち直しの動きが見られたものの、オミクロン株の急激な感染拡大や、部材供給面での制約、原材料価格の上昇などにより、依然として厳しい状況が続きました。

この様な経済環境のもと、当社グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の専門メーカーとして、鋭意営業活動の展開に注力してまいりました。

また、技術部門及び生産部門におきましては、「ものづくり改革プロジェクト」の活動を継続し、「ものづくり」に関する各工程の効率化と生産品質の向上に取り組んでまいりました。

この様に諸施策を推進してまいりました結果、交通システム機器部門においてホームドアや機器の改造等が堅調に推移しましたが、自動券売機などの出改札機器の売上が減少し、それに伴う設置工事等の売上也併せて減少しました。また、メカトロ機器部門において海外向けユニット製品の売上が低調に推移いたしました。これにより、売上高は99億1千3百万円（前連結会計年度比22.2%減）となりました。

また、損益面につきましては、原価の低減及び経費の削減に努めてまいりましたが、売上高の減少により、営業利益2億4千6百万円（前連結会計年度比73.9%減）、経常利益2億1千5百万円（同76.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億9百万円（同82.9%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

主要製品の概況



交通システム機器

売上高

35億8千6百万円

前期比44.0%

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、ホームドアや機器の改造等が堅調に推移しましたが、自動券売機等の出改札関連機器の売上が減少したことにより、売上高は35億8千6百万円となり、前期と比べ44.0%の減少となりました。



自動券売機
(JR四国様高松駅)



メカトロ機器

売上高

28億2千万円

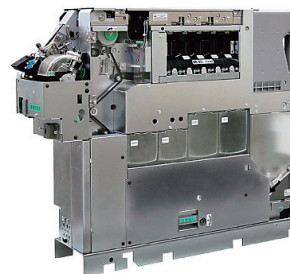
前期比4.3%

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket:チケット)、B (Bill: 紙幣)、C (Coin: 硬貨)、C (Card: カード) 処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、海外向けユニットが低調に推移しましたが、主に国内向け硬貨処理ユニットの売上が増加したことにより、売上高は28億2千万円となり、前期と比べ4.3%の増加となりました。



ホームドア
(小田急電鉄様小田原線新宿駅)



国内向け硬貨処理ユニット



特機システム機器

売上高

17億9千万円

前期比5.1% 

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

「セキュリティシステム」

オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行なう「入退場管理システム」も扱っております。

「防災計測システム」

特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置

型地震計」、レスキュー隊が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

「パーキングシステム」

駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当期におきましては、コロナ禍においてセキュリティシステムの需要が増加しましたが、主にパーキングシステムの売上が減少したことにより、売上高は17億9千万円となり、前期と比べ5.1%の減少となりました。



キャッシュレス対応入退場管理システム
(国営昭和記念公園様)
東京都立川市・昭島市にまたがる国営公園



フラPPERゲート式駐輪管理システム
(トツカーナモール様)
横浜・戸塚駅西口のショッピングモール



01

第7回鉄道技術展に出展しました

当社は、2021年11月24～26日に千葉幕張メッセで開催された「第7回鉄道技術展」に出展しました。当社ブースでは「新しい認証方法の提案」をテーマに、顔認証登録端末（非接触タッチパネル対応）、顔認証セキュリティゲート、VISAタッチ決済対応セキュリティゲートを展示し、多くの方にお立ち寄りいただきました。



02

医療と介護の総合展（大阪）に出展しました

当社は、2022年2月24～26日にインテックス大阪で開催された「医療と介護の総合展・感染対策EXPO」に出展しました。当社ブースでは、手指消毒の実施有無、顔の表面温度、マスク着用の有無を認識し、予め設定した判定条件に合わせて扉を開閉させる「測温コンパクトゲート」などを出展しました。この度の展示会への参加を機に、「医療と介護」という当社としては新たな分野の方々に当社製品を広く知っていただけるよう努めてまいります。

03

紀三井寺ケーブルカー駅でホームドアをご採用いただきました

231段の石段で知られる和歌山県の紀三井寺では、開創1250年記念事業として、バリアフリー化を目的にケーブルカーが設置されました。

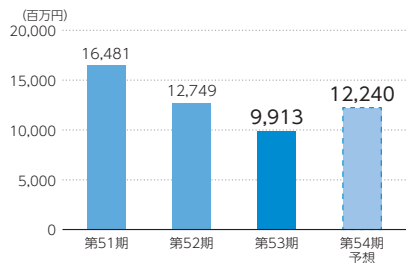
それに伴い、山麓・山頂にあるそれぞれの駅に当社ホームドアをご採用いただき、2022年4月より運用が開始されました。



連結財務ハイライト

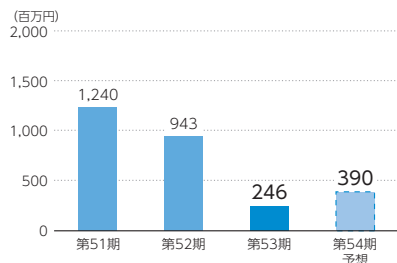
売上高

9,913 百万円
(前年比22.2%減)



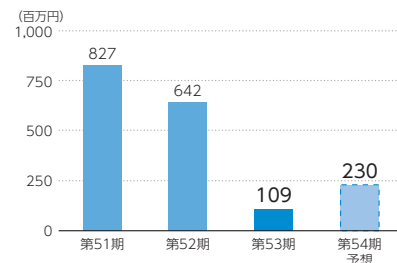
営業利益

246 百万円
(前年比73.9%減)



親会社株主に帰属する 当期純利益

109 百万円
(前年比82.9%減)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 第52期	当期 第53期
流動資産	10,183	9,562
固定資産	4,732	4,486
資産合計	14,915	14,048
流動負債	7,934	7,124
固定負債	3,299	3,105
負債合計	11,234	10,230
株主資本	3,480	3,581
その他の包括利益累計額	200	237
純資産合計	3,680	3,818
負債純資産合計	14,915	14,048

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第52期	当期 第53期
売上高	12,749	9,913
売上総利益	3,414	2,724
営業利益	943	246
経常利益	909	215
親会社株主に帰属する当期純利益	642	109

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第52期	当期 第53期
営業活動によるキャッシュ・フロー	792	754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552	△576
現金及び現金同等物の増減額	107	90
現金及び現金同等物の期首残高	2,944	3,052
現金及び現金同等物の期末残高	3,052	3,143

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要

会社の概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	406名 (単体)、579名 (連結)

主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	
交通システム機器	自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ＩＣカード入金機、ＩＣカード発売機 (駅務用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
メカトロ機器	硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、ＯＥＭ製品開発 他
特機システム機器	パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	高見沢 和 夫	
常務取締役	竹田 一 雄	
常務取締役	花岡 伸 一	
取締役	高橋 利 明	
取締役	下里 雄 二	
取締役	藤 曲 宏 弥	
取締役	上原 良 房	
取締役	朝 日 秀 彦	社外取締役
取締役	渡 部 広 史	社外取締役 独立役員
常勤監査役	篠崎 倫 夫	
常勤監査役	田 中 寛	
監査役	田 中 勝	社外監査役
監査役	笹 木 慈 夫	社外監査役 独立役員

株式の状況 (2022年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株 (自己株式126,396株を含む)
- 株主数 1,940名
- 大株主 (上位10名)

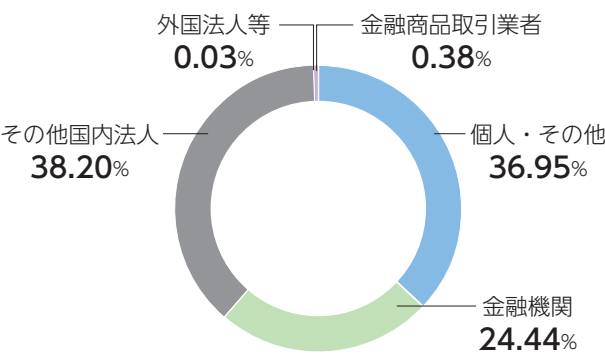
株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口	519	11.81
再信託受託者株式会社日本カストディ銀行		
富士通株式会社	416	9.47
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	231	5.27
ＩＤＥＣ株式会社	222	5.06
株式会社みずほ銀行	175	3.98
高見澤和夫	168	3.83
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27

(注) 1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。

2. 当社は、自己株式を126,396株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

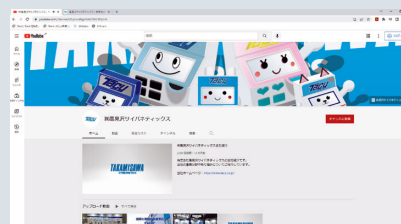
検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



YouTubeチャンネル



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。